

会 議 結 果 の お 知 ら せ

宮古市地域経済活性化連携会議令和7年度第2回会議を次のとおり開催しました。

令和7年12月23日

宮古市地域経済活性化連携会議

1 開催日時

令和7年12月18日（木）午前10時00分～午前11時30分

2 開催場所

宮古市役所5階5－3会議室

3 議題

- (1) 令和7年度産業関連事業の進捗について（資料No.1）
- (2) 国の経済対策に対応した物価高騰対策について（資料No.2）
- (3) 地域経済の動向について（資料No.3-1、資料No.3-2）
- (4) その他

4 会議の概要

別添のとおり

5 問い合わせ先

商工労働観光部 商業振興課 商業振興係 （電話0193-68-9092）

宮古市地域経済活性化連携会議令和7年度第2回会議 開催結果

- 1 開催日時
令和7年12月18日（木）午前10時00分から午前11時30分
- 2 開催場所
宮古市役所5階5－3会議室
- 3 出席委員（13名）
花坂康太郎、渡辺謙一、鈴木将人、佐藤功、星野正徳、大志田憲、佐々木久志、石原和幸、早川輝、藤田ルリ子、上之原良美、盛岩幸恵、尾形昌治
- 4 欠席員（6名）
門坂道弘、中居克広、寺井繁、小堀内将文、渡部玲子、菊地丙午
- 5 事務局出席者（10名）
宮古市商工労働観光部長 小成勝則
商工労働観光部 商業振興課長 山崎義剛
商工労働観光部 港湾課長 竹原和彦
商工労働観光部 観光課長 山崎俊幸
商工労働観光部 企業立地推進課長 藤田和幸
農林水産部長 飛澤寛一
農林水産部 農林課長 褒岩邦行
農林水産部 水産課長 中西秀彦
商工労働観光部 商業振興課商業振興係長 根市昇、同課主事 上木楓馬
- 6 傍聴者
なし
- 7 議事等
（議事）進行：花坂議長
（1）令和7年度産業関連事業の進捗について
事務局より資料№1により、産業立市ビジョン実行計画の進捗について説明。
質疑等は下記のとおり。

質問・意見	回答
I「うみだす」 （委員） 職場環境の整備について、ハード面だけではなくソフト面の整備も重要。特に若者をターゲットにする場合、ヒアリングが重要。取材型インターンなどを活用して、職場環境を見直す取り組みを支援していただけるとありがたい。	（事務局） 産業振興補助金については、特にハード、ソフトを限定しているものではない。提案内容が要件に該当すれば、ソフト事業であっても補助対象となる。相談いただきたい。

<p>(委員)</p> <p>高校生意見発表会について、参加生徒や先生の反応はどうか。</p>	<p>(事務局)</p> <p>アンケートは現在回収中である。生徒たちは、大勢の人の前で発表する機会は少なく貴重な経験になったのではないかと。生徒からは、「発表できて良かった」「自分たちのためになった」との声が寄せられている。</p>
<p>(委員)</p> <p>ジビエ処理加工施設の稼働開始の時期、処理能力の規模、対象動物について教えてほしい。</p>	<p>(事務局)</p> <p>令和８年度工事、令和９年４月の稼働開始を目指して進めている。年間処理頭数は将来的に１,５００頭を想定。対象は、シカ、イノシシ、クマということで取り組んでいる。</p>
<p>(委員)</p> <p>しいたけの品評会の過去の実績は。将来的にブランド化等の考えはあるか。</p>	<p>(事務局)</p> <p>品評会では昨年度、農林水産大臣表彰を受けた方が２名おり、宮古地域の品質は高く評価されている。将来的にブランド化を進めていきたい。</p>
<p>(委員)</p> <p>新規就農者の募集や取り組みはあるか。</p>	<p>(事務局)</p> <p>担い手については補助制度を創設し、支援している。近年、１名の実績がある。指導者の協力も得ながら取り組んでいる。</p>
<p>Ⅱ「うりこむ」</p>	
<p>(委員)</p> <p>最近、ふるさと納税の住民税控除額に上限を設けると報道があった。宮古市の寄附額は２１億８,１００万円とのことだが、経費率はどの程度か。</p>	<p>(事務局)</p> <p>経費率は５０％以内に収めることがルールであり、宮古市も遵守している。地場産品の返礼品は寄附額の３０％以下で処理している。</p>
<p>(委員)</p> <p>クルーズ船寄港時、岸壁に人がいない時間がある。改善できないか。また街中への経済効果をどう高めるか。</p>	<p>(事務局)</p> <p>クルーズ船によって状況は異なる。今年の岸壁での売上は約２,５００万円と増加している。街中への経済効果を高めるため、シャトルバス運行や出店時間の工夫を継続する。</p>
<p>(委員)</p> <p>クルーズ船来訪者の声や改善点が市民に伝わっていない。フィードバックの場はあるか。</p>	<p>(事務局)</p> <p>昨日、関係者で反省会を実施し、結果を共有している。来年３月に本部会議を開催する予定としている。</p>

<p>(委員) 資料にグリーンピア三陸宮古の方向性の検討を実施とある。施設内の遊具が老朽化している。子供たちが利用しやすいよう改善できないか。</p> <p>(委員) ふるさと納税は過去に一時期大きく伸びたが、その後減少し、近年再び増加している。理由は何か。また返礼品の開発はどう考えているか。</p> <p>(委員) 鉾ヶ崎地区での賑わい創出事業により、新規事業者や新しい店舗の出店実績はあるか。</p> <p>(委員) クルーズ船の増加は岩泉や盛岡にも波及し、県としても大きな経済効果があると認識している。宮古市内への経済効果を上げる方策について一緒に検討を進めたい。</p> <p>(委員) 宮古市では祭りやイベントが多いが、今後も継続・拡大するのか、それとも統合するのか。課題認識を教えてください。</p> <p>Ⅲ「はぐくむ」</p> <p>(委員) 高校生のキャリア教育は充実しているが、小中学生への取り組みはどうか。教育委員会との連携も必要では。</p>	<p>(事務局) 昭和60年建設の施設で老朽化が進んでいる。木製遊具は腐食が進み、安全性に課題がある。施設全体の方向性を2年かけて検討していく。意見として承る。</p> <p>(事務局) 初期は「さとふる」で牛タンが人気となり急伸したが、他自治体の参入で競争が激化し減少した。今回の増加は、牛タンがメインであるが、口コミやアンケートを基に事業者と協力し、ニーズに合う商品を提供することにすることが要因。今後も顧客層を分析し、事業者と相談しながら新しい返礼品を開発していく。</p> <p>(事務局) 直接関連はしないが、企業誘致により鉾ヶ崎地区に新しい製造工場が進出し、雇用が生まれている。</p> <p>(事務局) イベントごとに目的が異なる。例えば「鮭まつり」は鮭のPRが目的だが、近年は漁獲量減少で課題がある。一方「毛ガニまつり」は冬季観光資源として定着している。目的に応じて整理・研究し、必要なイベントは継続していく。</p> <p>(事務局) 小学生には「テクノフェスタ」により、産業を知る導入的な機会を提供しており、一定の効果が出ている。中学生については空白になっている。学区外企業との連携をどう進めるか検討している。</p>
--	---

<p>(委員) 外国人労働者は増えているのか。どの分野で必要とされているのか。</p>	<p>(事務局) 製造業で外国人労働者が増加。以前は中国人が多かったが、現在はインドネシア人が最も多い。今後は介護分野でも増加が見込まれる。住居の確保が困難であり、支援策を検討している。</p>
<p>(委員) UIターンに関し、経済的なハードルを下げるための支援はあるか。</p>	<p>(事務局) 岩手県と連携して移住費の支援を実施している。市としても周知を徹底する。4月から引っ越し費用を対象にする改正を予定。</p>
<p>(委員) 今年の産業まつりは9月開催だったが、例年通り10月上旬に戻してほしい。他イベントとの重複があった。</p>	<p>(事務局) 船の寄港との兼ね合いもある。確約はできないが調整を進める。</p>

(2) 国の経済対策に対応した物価高騰対策について

事務局より資料No.2により、12月定例会議にて予算化した物価高騰対策について説明。
質疑等は以下のとおり。

質問・意見	回答
質問・意見なし	

(3) 地域経済の動向について

岩手県立大学宮古短期大学部 鈴木将人准教授より資料No.3-1、3-2により、景況調査結果を説明。

質疑等は下記のとおり。

質問・意見	回答
質問・意見なし	

(4) その他

事務局より、次回の会議の開催予定について説明。(令和8年2月予定)